



2023年4月14日

各 位

会 社 名 株式会社システムインテグレータ
代表者名 代表取締役社長CEO 引屋 敷 智
(コード番号：3826 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O 山 田 ひ ろ み
(TEL. 048-600-3880)

中期経営計画の業績目標修正及び新たな経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2022年4月14日に発表した「中期経営計画の業績目標修正のお知らせ」に記載の目標値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

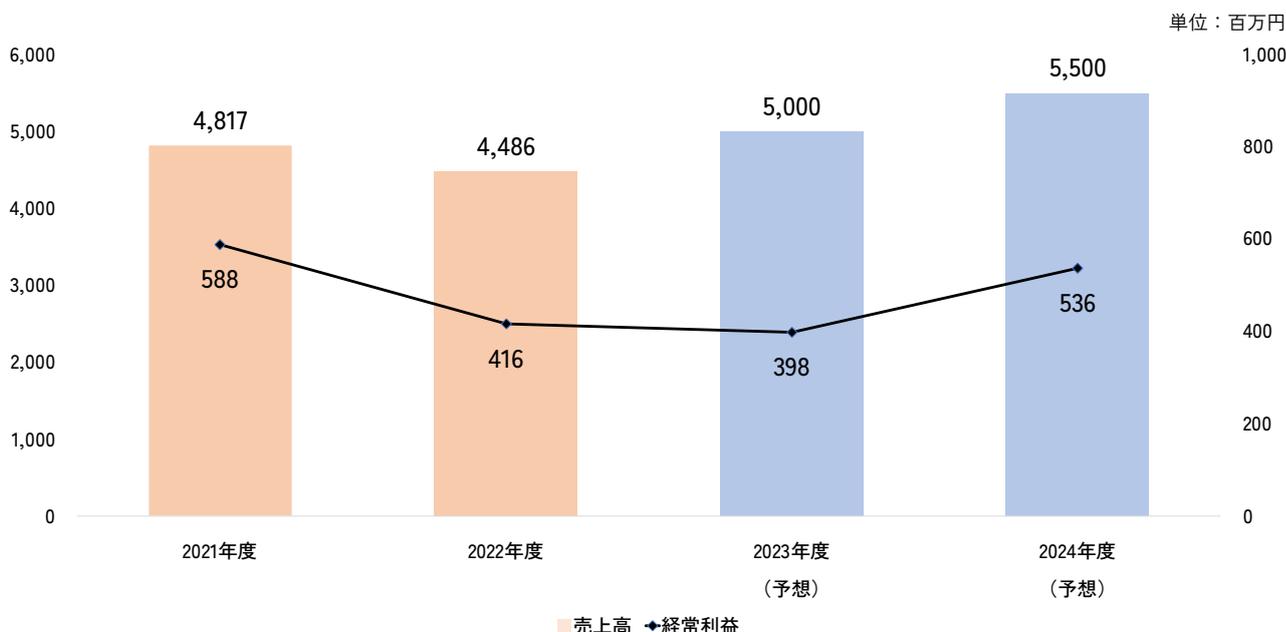
なお、2023年度は2021年度から開始した中期3年計画「SDGs Mind 2021」の最終年度となりますが、2023年度以降は3年単位の中期計画を改め、2年単位の経営計画を定め毎年同単位での計画策定を行います。そのため、2023年度は新2年経営計画の1年目と位置づけ、5年後に売上高71億円、10年後に売上高120億円の中長期目標達成に向けて、本年度とともに2024年度の着実な目標達成を目指してまいります。

記

1. 2023年度業績目標の修正及び、新2年経営計画について

(単位：百万円)

SDGs Mind 2021							新2年経営計画			
	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	修正前計画	修正後計画	計画修正率	計画
売上高	4,850	4,817	99.3%	4,400	4,486	102.0%	5,700	5,000	△12.3%	5,500
成長率	13.9%	13.1%	-	△8.7%	△6.9%	-	27.1%	11.5%	-	10.0%
経常利益	636	588	92.6%	345	416	120.6%	803	398	△50.4%	536
経常利益率	13.1%	12.2%	-	7.8%	9.3%	-	14.1%	8.0%	-	9.7%



2. 業績目標修正理由

当社は、ITエンジニア確保のため新卒、中途ともに積極的な採用を続けており、2022年度の採用者数は新卒23名、中途15名と過去最高の採用数となりました。一方で、新規採用者が参入障壁の高い当社各事業において戦力となり、お客様に規定品質以上のサービスを提供するには、従来にも増して高度なスキルと知識が要求されます。社内教育を経て部分的な業務や小規模プロジェクトを経験するなど、その育成には設計や開発など初期レベルの業務を担うエンジニアでも通常2年程度の育成期間を要しています。このような状況を踏まえ、中長期目標及び2023年度の業績目標を修正いたしました。早期戦力化のための育成プログラムを強化しておりますので、翌事業年度中には市場との需給バランスが取れるよう改善する見込みとなっております。

3. 「SDGs Mind 2021」重点施策の経過

中期経営計画に掲げた5つの重点施策について、2年間の総括は以下のとおりです。これらの施策については、新2年経営計画でも継続的に対処してまいります。

(1) 既存事業の拡大とブランド力向上

当社は、既存の主要3事業を2桁成長すべく、マーケティングによるブランド力向上や新規顧客の開拓に注力いたしました。新規案件受注遅れにより主要3事業の前期比売上高成長率は、ERP事業：3.9%減、E-Commerce事業：24.2%減、Object Browser事業：2.6%増と成長が鈍化する結果となりました。そのため、「事業戦略本部」を新設し、各事業に分散していた新規顧客開拓担当者やマーケティング部門を集約することで、連携力と総合力を高めて新規顧客開拓営業を推進してまいります。

(2) 海外展開

昨今、国内におけるIT人材の獲得競争が激化しております。このような背景から、従来より行っていた国内拠点でのベトナム人エンジニア採用に加えて、2022年10月にベトナムのダナン市に海外子会社を設立しオフショア拠点といたしました。2023年2月末時点で15名の規模となり、ERP事業・E-Commerce事業・AI事業でのオフショア開発および現地ビジネスを開始いたしました。

(3) 新規事業の収益化

新規事業は、ディープラーニング異常検知システム「AISIⅤ-AD」、プログラミングスキル判定サービス「TOPSIC」、アイデア創出プラットフォーム「IDEA GARDEN」の3つが該当します。

「AISIⅤ-AD」は、AI技術の進歩によりお客様の活用意欲も高まり、実用例も増えてきたことから黒字化の見込が立ってまいりました。

「TOPSIC」は、IT人材育成やプログラミング教育の需要が高まりつつある中、コンテストなどのイベントで認知度向上を図っており、新規顧客数が着実に増えてきております。

「IDEA GARDEN」は、企業内での新規事業などアイデア創出のプラットフォームとして「ChatGPT」を壁打ち機能として組み込むなどしておりますが、未だ未成熟な市場であり使用価値とともに認知度向上が必要なフェーズです。

(4) 社員のスキル向上

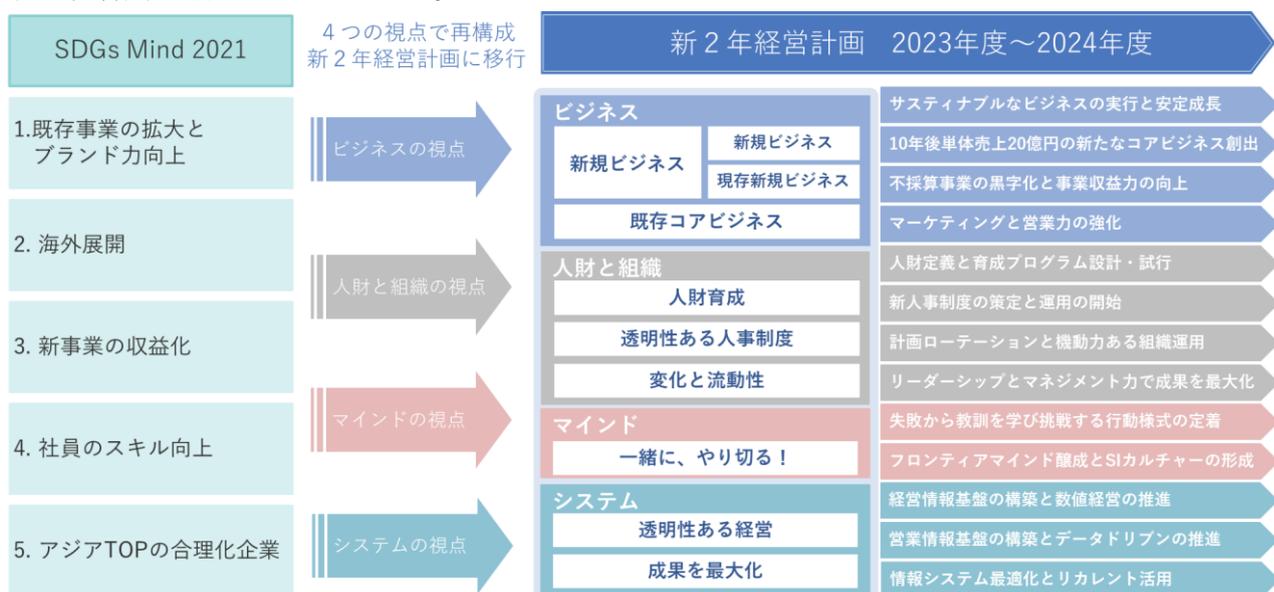
当社は「社員全員が一流の技術者」というVisionを掲げ、体系的な全社教育の実施、部門での各種専門教育などスキル向上のチャンスや手段を提供しています。社員の自主性を尊重した希望制の研修を多数用意し、2021年度には全社員の約半数である100名を超える参加希望がありました。今後も社員自らが成長するマインドを持ち、一人ひとりがコアコンピタンスを形成できる会社組織を目指してまいります。

(5) アジア TOP の合理化企業

当社は、効率化のためのシステム投資は惜しまず実施し、アジアTOPの合理化企業を目指しております。社内のあらゆる非効率を改善することを目的とした「業務改革ワーキンググループ」では、スピーディに企画立案から実行まで進められるよう、業務改革プロジェクト責任者として専任の役員が旗振り役となり、業務改革が実施されています。

4. 新2年経営計画概要

新2年経営計画では「SDGs Mind 2021」で掲げた5つの重点施策を継承した4つの視点（ビジネス・人財と組織・マインド・システム）で再構築いたしました。今後はこれら4つの重点施策に取り組み、着実に達成してまいります。



(注) 記載の予想値、目標値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の判断で作成したものであり、将来の業績を保証するものではありません。今後の様々な要因により実際の業績等は変動することがありますので、ご了承ください。

以上